

2.技術評価

【設計業務の実施方針】

①必要な機能や安全性を満たすための適切な設計方針が示されている。

①照明設備については、リユースができ、有害物質を含んでいない国内生産品を多く選定しております。

②空調設備については個別空調（GHP高効率機種）へ変更し、部分故障や災害の時のリスクにも配慮しております。

③機器の能力も同等以上で設計しております。

2.技術評価

⑤中長期的なランニングコストの評価の妥当性が担保された適正な空調方式（電気式、ガス式等）が選定された提案があるか。

⇒下記3パターンを検討しました。



①モジュールチラー

保守金額…『大』 ランニングコスト…『大』
メーカー縛りが強く、部品コストも高額傾向

②EHP

保守金額…『小』 ランニングコスト『中』
保守金額は低額だが、故障のたびに修理費用が発生

③GHP（プロパン）

保守金額…『中』 ランニングコスト『中』
保守金額が一定であり、部品交換、修理費用も保守内に含まれている。

当グループからはイニシャルコストも考慮し、GHP（プロパン）をご提案!!

2.技術評価

【維持管理業務の実施方針】

- ①空調照明設備の点検等の維持管理業務の適切な実施方法が提案されているか。
- ①遠隔監視及び、24時間365日受付対応可能なコールセンターを設置いたします。
- ②3年毎に法令で定められているフロン定期点検やフィルター清掃、また定期部品交換については予め仮スケジュールを組み、漏れや遅れが発生しないよう対応いたします。
- ③3ヶ月毎に法令で定められているフロン簡易点検はシステム上で管理いたします。
- ④定期点検や緊急修繕については、SE登録されているサービス員（必要有資格者）で 確実な対応をいたします。

